

学会報告書

American Heart Association scientific sessions 2008

場所：New Orleans, Louisiana, USA

期間：2008年11月8日（金）～ 2008年11月12日（水）

ド エ・ジョランチチゴ

報告者：道額・珠蘭其其格（循環器内科・大学院3年生）

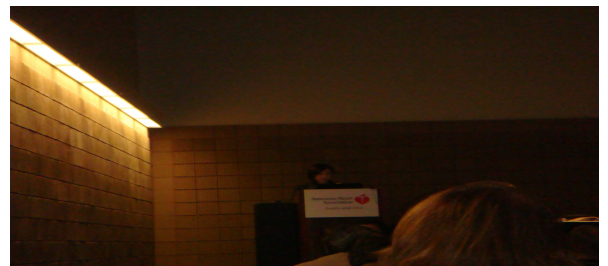
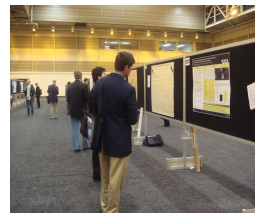
学会概要

循環器分野における年一度の世界的な学会である米国心臓協会(AHA)学術総会は今年第81回を迎え、アメリカニューオーリンズにて開催されました。本学術集会は循環器領域では世界最大の国際会議であり、米国内のみならず世界中から最先端の研究データが集まり、さらに世界中のエキスパートが集い、情報交換と交友を深める場でもあります。発表演題はポスターセッション、E-ポスターセッション及び口述セッションに分かれて発表され、世界中から約3万人の研究者が集まりました。



学会の様子

今回私は口述セッションにて、「肺高血圧患者における Rho キナーゼ経路の活性化」に関する研究を発表いたしました。発表会場には、早朝の発表だったにも関わらず、50人以上の聴講者が集まりました。私には国際的学術集会在初めてでしたので、発表前はとても緊張していましたが、10分間の発表中には緊張もとけ、その後の5分間の質疑応答も無事終わることができました。その質疑応答で、難病である「肺高血圧症」の治療における Rho キナーゼの役割について、世界中から注目を集めていることがわかり、さらなる研究の必要性を感じました。



ニューオーリンズ市の風景

ニューオーリンズはアメリカ南部のルイジアナ州にあります。メキシコ湾からミシシッピ河を170キロほど遡ったところにある港町です。河には外輪船（今では観光用ですが）が行きかい、旧市街フレンチクォーターにはフランス領時代のヨーロッパ風の街並みが続き、あちこちからジャズ、カントリー、ソウルなど色々な音楽が聞こえてくる素晴らしい街です。

